

北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくりに関する考え方について 中間報告【概要】

<経緯>

- ◆ 吹田操車場跡地^(※)では、平成 30 年度を目途とした国立循環器病研究センター及び市立吹田市民病院の移転を控え、循環器病予防を中心とした“健康・医療のまちづくり”を推進
- ◆ 平成 26 年 7 月以降、「北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議」^(※)で、7 回にわたって、地域医療の在り方等を議論

(※1) 名称: 北大阪健康医療都市、愛称: 健都(けんと、KENTO)
 (※2) 第 1 回～第 6 回の会議名称は「吹田操車場跡地を中心とした健康・医療のまちづくり会議」

1. 基本的な考え方

すべての関係者

- ◆ 「国立循環器病研究センターを核とした医療クラスター形成に関する基本的な考え方」を念頭に、健康・医療のまちづくりに向けて協力・連携
- ◆ 生活習慣病予防や健康づくりの先進的なモデル地域を目指し、全国・世界へ発信
- ◆ 周辺の地域も含めた、広く地域医療の質の向上等に資する取組の推進

- ◆ 上記達成のため、
 - ・ 各主体が以下の役割を果たすとともに、
 - ・ 市民、NPO、団体、企業などと連携・協働

吹田市・摂津市

吹田保健所、茨木保健所とも協力して、地域医療の連携支援や意欲的に健康づくりに取り組む市民・企業を増やす健康増進施策等の推進

国立循環器病研究センター

地域に密着しつつ、ナショナルセンターのミッションである循環器病の予防と制圧の取組を推進

市立吹田市民病院

隣接する両病院ならではの連携した医療提供体制の構築、地域医療関係者との連携、地域医療の質の向上に向けた取組の推進

医師会、歯科医師会、薬剤師会

病院、診療所、薬局間の円滑な連携を推進

2. 個別具体の論点についての考え方

(1) 地域医療について

ア. 両病院（国立循環器病研究センター及び市立吹田市民病院）が隣接することによる連携・機能分担

- ◆ 診療科目の調整・連携、患者受入れの協力等、二つの急性期病院が隣接するからこそその連携や機能分担を推進

イ. 両病院が吹田操車場跡地に移転することによる地域の診療所及び薬局との連携・機能分担

- ◆ 地域の診療所及び薬局との連携や機能分担に向けた検討を推進

ウ. 両病院が吹田操車場跡地に移転することによる近隣病院との連携・機能分担

- ◆ 地域医療構想の策定動向等を踏まえ、移転後の病院間連携について、吹田保健所、茨木保健所を中心に必要な支援等を実施

エ. 国立循環器病研究センターを核とした地域における予防医療の実施・啓発

- ◆ 国立循環器病研究センターによる地域医療関係者、行政、企業と連携した先駆的な循環器病予防モデルの実施等^(※)

(※) 例えば、吹田市、摂津市等の協力を得て、健康、医療及び介護に係るデータを活用した分析、新たな住民コホート研究の開発等を推進

オ. 平成 37 年（2025 年）に向けたこのまちの地域包括ケアシステムの構築

- ◆ 北大阪健康医療都市ならではの医療・介護連携等の検討を推進
- ◆ 市立吹田市民病院が回復期リハ病棟の導入を検討していることを踏まえ、回復期から慢性期への移行や在宅復帰の連携等を推進 等

カ. 吹田市（豊能医療圏）、摂津市（三島医療圏）の市境という立地

- ◆ 地域医療構想の策定動向等を踏まえ、救急患者の流れ等、医療圏の相違による広域的な地域医療の課題について検討を推進
- ◆ 移転に伴う両病院へのアクセス向上のための検討 等

(2) 健康・医療のまちづくりについて

ア. 健診受診率の向上をはじめとする健康づくり

- ◆ 特定健診や特定保健指導、がん検診の受診率向上
- ◆ 北大阪健康医療都市のまちづくりを契機として、健康づくりへの市民の機運の醸成を推進 等

イ. 健康指標等からみた課題

- ◆ 吹田市、摂津市の健康寿命について、経年比較等による評価を実施
- ◆ 国保データ等の分析を進め、疾病予防等を推進 等

ウ. 北大阪健康医療都市におけるまちづくり

- ◆ 国内外から多くの人が集まるまちづくり
- ◆ 移転後の国立循環器病研究センター内にオープンイノベーションセンター（仮称）を設置し、共同研究の拠点づくりを推進
- ◆ 両病院は駅前商業施設（JR 西日本）とともに、まちづくりとの調和、「学び」と「体験」の場の提供等、健康・医療のまちづくりに貢献
- ◆ 駅前商業施設（JR 西日本）が循環器病予防を中心とした健康・医療のまちづくりに調和する施設となるよう、連携・協力
- ◆ 吹田市が整備する健康増進広場及び高齢者向け複合居住施設について、国立循環器病研究センター等は助言等の協力
- ◆ 都市型居住ゾーンでは、国立循環器病研究センター等と連携し、「健康住宅地」の形成を目指す
- ◆ 北大阪健康医療都市の各街区及び周辺道路において、路上喫煙禁止とすべく検討
- ◆ 訪れた人が健康等を意識し、楽しめるよう、歩行者空間等のハードからウォーキングイベント等のソフトまで、各種環境を整備
- ◆ 健都イノベーションパークについて、オール関西の更なる発展を牽引する、新たなイノベーション拠点の形成を目指し、企業等を誘致
- ◆ 地域住民が健康・医療のまちづくりに主体的に参画できるよう、健康づくりを担うリーダー等の育成・支援
- ◆ 多様な主体によるエリアマネジメント組織の設立、活動への支援
- ◆ 「健康・医療」まちづくりポータルサイト等による効果的な広報 等

3. 今後の議論の在り方

- ◆ 本中間報告で整理した各取組に関する「工程表（ロードマップ）」の作成と定期的な進捗確認、必要に応じワーキンググループの設置
- ◆ 吹田・摂津各市の全市的な地域医療の連携体制の強化、健康づくりの推進等に向けた議論の実施

以上、「北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議」に参画する、国立循環器病研究センター、市立吹田市民病院、吹田・摂津両市の医師会、歯科医師会、薬剤師会、吹田保健所、茨木保健所、吹田市、摂津市で確認